

幼稚園長 R5.7.21 実施
 保育園主任 R5.7.20 実施
 幼稚園副園長 R5.8.1 実施
 幼稚園担任 R5.8.1 実施
 保育園副園長 R5.8.25 実施
 保育園担任 R5.9.1 実施
 <教育理念を出す WS>
 意見まとめ

子育て・就学前教育

保護者支援の場・コミュニティづくり

- ・人と人がつながる(つなげる)
- ・身近な人、大人(職員)とのかかわりの中で豊かな感性を身につける
- ・保護者・地域・職員が一体となって、すべての乳幼児の健康な育ちを保障する
- ・子ども、保護者、職場の先生方としっかりとコミュニケーションをとり、子どもにとってよりよい場となるようにする
- ・幼児、保護者、地域、職員が園を中心とした互いに必要とし合える関係づくり
- ・職員、PTA(地域)がつながるような園づくりができるようになる
- ・保育園が子どもにとっても保護者、地域の方、職員にとっても安心できる場となるように
- ・子どもも教師もとりまく大人(PTA、地域)も充実できるような幼稚園の運営に携わる
- ・子どものことを共通理解しながら皆で保育をすすめる
- ・地域を巻き込んで子どもたちの成長を見守っていく
- ・相手を尊重し、互いに高め合える関係づくりを目指す
- ・思いを出しあいながら保育を進める
- ・子育てを楽しめるように
- ・楽しみながら保育をする
- ・園にかかわるすべての人がいつも明るく笑顔でいる
- ・子育て支援、子育ての仕方、子育てしやすい街
- ・地域活性化
- ・地域の中の幼稚園として、地域の中で子どもたちを大切に育てていきたい
- ・相手にひびく伝え方とは。を常に考え発信できる園長
- ・園全体で子どもを見守っているという姿を子どもにも保護者にも伝えていく
- ・取組を分かりやすく、相手に伝える
- ・保護者が安心して子育てができるようにサポートする
- ・保護者と信頼関係を築き、共に子育てしていく
- ・保護者支援
- ・保護者のニーズに応えながらの子どもがのびのびと過ごせる幼稚園づくり
- ・保護者のニーズの理解と保育構成
- ・子どもと共に自分(親)も成長できるように(子どもから学ぶ、変化を楽しむ)

- ・子どもと共に親も成長できるように。そして子どもに返っていくように
- ・子どもが園でも家庭でも安心してすごせる

「遊び」を「学び」につなぐ就学前教育の充実

- ・楽しいこと、幸せなこと、好きなことを見つけよう
- ・子どもたちが毎日笑顔で健やかに幸せいっぱいにご過ごしてほしい
- ・子どもに何を経験させていのか、何を大切にしたいのかを常に考えていく
- ・幼児理解
- ・一人一人が自分らしく生活する
- ・一人一人の子どもが生き生きと過ごせるように
- ・一人一人を大切にしたい保育をしたい
- ・自分で考えて行動する
- ・自信が次の行動力につながる
- ・自分の好きなこと、得意なことを持ち自信をもってほしい
- ・自ら進んで取り組む
- ・自分のことが自分でできる、自分で考えられる子
- ・自分なりに考えて行動できる
- ・自分のしたいことを自分で見つけ、それを実現しようとする力を身につけてほしい
- ・今後どうなるかわからない未来を強くたくましく自分の考えをもって生きていってほしい
- ・「これがしたい」と思った時にできる土台を身につけさせたい
- ・自分の思いを言葉や何らかの方法で表現できる
- ・自分が自分であることに誇りをもってほしい
- ・自分らしさ(思い、考え、表現)を大切に自信をもつ
- ・明日に希望をもって毎日過ごしてほしい
- ・主体的に学ぼうとする力をつけてほしい
- ・意欲的で自立性のある子ども
- ・自主性、主体性をもった幼児の育成
- ・自主性、自立性のある子ども
- ・自主性を育てる
- ・主体性を育てたい
- ・主体的をもった子どもに育ててほしい
- ・子どもの主体性を守る
- ・生き生きと主体的に園生活を送る
- ・様々な活動に「やってみたい」と興味をもって参加してほしい
- ・いろいろな活動に意欲的に取り組んでほしい
- ・積極的に自分から行動する
- ・様々な経験から興味、関心を広げていく
- ・人と協力して社会活動を実践していける人を育てたい
- ・今までやってきたことを継続して進める。学び続ける姿勢を保つ
- ・人として“生きる力”を育成していく

- ・生きる力をつける
- ・「生きる力」を強くもつ子どもを育てる
- ・子どもの主体性、生きる力を培う保育を行う。(その中にきまりを守る。コミュニケーションなどバランスよく)
- ・共に生きるための力を育てる
- ・子どもの可能性を引き出す
- ・子どもを未来の一人格ととらえて向き合っていく
- ・人とのコミュニケーションを通して心をゆさぶられる
- ・時代を生き抜くには人を信じる力、コミュニケーション力が必要
- ・人と人とのコミュニケーションを大切にする
- ・人が好きで人とのコミュニケーションを大切にする
- ・相手を大切にするコミュニケーションの方法
- ・子どもたち一人一人が心身共に健康に成長し、様々な社会の中でコミュニケーションを大切にしながら自己を発揮して欲しい
- ・人とかかわる力を育てたい。人を好きになってほしい
- ・人とかかわることが楽しいと思える保育をつくる
- ・人が好きな子どもに
- ・友達の良いところをたくさん見つけてほしい
- ・友達の存在、思いを大切に
- ・違いを認め合い、自分も相手も大切にし合える、温かい人と人とのつながりを大事にする
- ・お互いの存在を尊重しながら認め合える仲間づくり
- ・大人、子どもともに他者を思いやり、認めあえるような関係をつくりたい
- ・認め合うというよりは理解し合う方が理念としては近いように思う。人権学習は奥が深い。
- ・自分らしく生活し、互いに尊重し合える
- ・一人一人の良さを互いに認め合える集団をつくりたい
- ・自分の個性、人との違いも認め合える子どもたちに
- ・個々に合わせた援助や関わりを大切にされた保育
- ・一人一人の個性を大切にしながらのなかまづくり
- ・個々の違いを認め合えるように
- ・どんな姿でもどんな子どもでも受け入れたい
- ・友達と一緒にいる楽しさ、友達との違いなど人との関わりのおもしろさを感じてほしい
- ・人との関わりを楽しみと感じて大切にしてほしい
- ・自分のことも人のことも大切にできる心を育てたい
- ・自分の事も友達のことも大切にできる人になってほしい
- ・自分も他者も大切にできる子どもを育てる
- ・自分の命も友達の命も大切にする人に育てて欲しい
- ・自分の思いを相手に伝え、相手の思いを知ることができる人に育ててほしい
- ・やさしい心を育てる
- ・一人一人が自分も相手も大切に思い合い、ぐんぐん育ち合える園づくりを目指す
- ・子ども一人一人の良さを認め、受け止め合えるクラスづくり

- ・一人一人が、この幼稚園、このクラスで過ごせて良かったと思えるクラスづくり
- ・のびのびと自分を表現できる子
- ・のびのびと自分らしさを大切にしてほしい
- ・大人も子どもも自分らしくのびのびと生きていってほしい思いがある
- ・個性豊かな子どもに育て欲しい
- ・生駒市の自然豊かな環境の中で自分の力を発揮し健やかに成長してほしい
- ・心身共に健康な子どもたちにしたい
- ・自尊心を育む
- ・元気で健康な体づくり
- ・自分も自分が育てかかわってきた子も世の中に役立つ人で在れ！！
- ・小学校への期待をもち、互いに認め合える
- ・小学校にスムーズに移行する
- ・小学校への就学を幼児も保護者も楽しみにできるように
- ・一人一人を大切に相手の立場にたって寄り添える教員に
- ・子どもたちにとって一緒にいて厳しさもありつつ、ほっとできる教師でありたい
- ・子ども、保護者、職員の人権を大切にできる保育士でありたい
- ・子どもが幸せな時間を過ごすことができる担任になる
- ・子どもも職員も楽しみながら生活(教育・保育)できる園に
- ・教師自身が楽しいと思える保育
- ・幼児も職員も一人一人が自己肯定感や有用感を感じられるような園づくり
- ・幼児と職員との関わりを増やす
- ・自らすすんで考え、発言し、行動できるように(子ども、教員とも)
- ・保護者や職員にとって一番の理解者でありたい
- ・安心、安全
- ・安心安全な幼稚園
- ・安心して預けられる幼稚園
- ・安心して保育園にあずける
- ・安心して子どもを預けてもらえる環境づくり、組織の体制づくり
- ・安心できる環境の中で育つことができるように
- ・安心できる環境の中で、のびのびと活動できるように
- ・子どもが園でも家庭でも安心してすごせる
- ・子どもが安心安全な環境でいろいろな経験をし成長していく
- ・子どもが安心してすごせる場所を確保し、自主性が育つよう保育していきたい
- ・子どもの命を守る
- ・子育てがしやすい園づくり
- ・わくわくがいっぱいの園づくり
- ・「これ何だろう?」「あれ?昨日と違う」子どもたちの気持ち、目をひく仕掛けを
- ・幼児、保護者を受け入れる組織体制
- ・様々な人が自分らしく過ごせる園になってほしい
- ・保護者のニーズの理解と保育構成

- ・教材研究をし、保育内容を充実させる
- ・計画性をもって取り組む
- ・幼稚園、保育園の特性を生かし、0～5歳児までの子どもに充実した保育を行う
- ・働きやすい職場づくり、働き方を改革していく
- ・子どもたちだけでなく、職員も心身共に健康に過ごす
- ・個性が認め合える職場にしたい
- ・職員のモチベーションが上がるような職場づくり
- ・限られた勤務時間の中で効率良く、質の高い保育を行う
- ・限られた時間を有効に使う
- ・安心して働ける職場
- ・1人で抱えこまず、自分から意見やアドバイスを聞く
- ・他の職員と意見を出し合いながら教育・保育をすすめていく(コミュニケーションを積極的に)
- ・職員同士も良い関係になれるようコミュニケーションを大切にする
- ・職員同士のコミュニケーションを大切にする
- ・担任の思い、考えを聞きながら一緒に考えていく
- ・互いに尊重しながら協力していける人間関係の構築
- ・信頼関係を築き、より良い自分の立ち場所をつくる
- ・信頼しあえる、支え合える人間関係
- ・良好な人間関係、職場づくり
- ・保育はチームワーク、一人では対応しきれない事も支え合うことでうまくいくように人間関係を大切に、子どもたちを守る、育てる
- ・楽しみながら保育をする
- ・保育士の仕事に楽しさを感じながら保育に進んで取り組む
- ・教員としての楽しさを感じながら、共に支え合える職員間
- ・職員との信頼関係の構築と育成
- ・職員、保護者に信頼される保育士になりたい
- ・「この担任で良かった」と少しでも思ってもらえたら
- ・信頼関係を大切にし、保育士としての資質を向上してほしい
- ・自身のスキルアップと全体で協力して取り組んでいける園を目指す
- ・人材育成
- ・園で働く職員に心身共に健康であって欲しい
- ・日々、子どもと向き合うことに喜びを感じて欲しい
- ・職員が幼児一人一人と笑顔で関わり、自信をもって保育をしてほしい
- ・子どもの声をたくさん聞き、思いを受けとめる
- ・子ども、保護者の気持ちに寄り添って、余裕をもって保育していきたい
- ・笑顔で退職できるよう、理念を大切にしながら毎日職場に行く
- ・幼稚園教育を大切にしたこども園
- ・時代や世代で変化する保育ニーズに対応できる保育者であること
- ・目の前の幼稚教育は子どもたちの将来の生きる力につながっている
- ・園児数の増加を目指す